



平成27年1月27日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

お知らせ

『海・空・港』の研究者が名古屋港金城ふ頭に ～長期間供用したタイワイヤーの健全度を現地確認～

社会資本の老朽化に係わる問題が各方面で顕在化し、国民の社会資本ストックの将来に対する懸念が高まっています。

港湾においても、高度成長期などに集中的に整備された施設が急激に老朽化し始めているところであり、戦略的に維持管理・更新を行い、安全・安心の確保や施設の機能維持に向けた取組を如何に実施するかが急務となっています。

こうしたもと名古屋港湾事務所では、金城ふ頭84号岸壁に於いて、老朽化対策工事を進めている所です。

港湾荷役等で岸壁背後が利用されている事や、地中深くに埋設されている等により、従前ではタイワイヤー(※)の健全度の把握が難しく、状況を把握出来た事例は数少ないのが実態でした。

今般、老朽化対策工事で調査が可能となった事から、港湾・空港の研究者により確認が行われましたので、お知らせします。

- ・日 時：平成27年1月23日(金)
- ・場 所：名古屋港金城ふ頭84号岸壁(別紙地図参照)
- ・内 容：研究者がタイワイヤーの劣化・損傷状況を目視により確認
- ・実 施 者：独立行政法人港湾空港技術研究所
ライフサイクルマネジメント支援センター 山路副センター長
国土交通省国土技術政策総合研究所
港湾研究部 港湾施設研究室 宮田室長、竹信主任研究官
港湾研究部 港湾施工システム・保全研究室 井山室長

●配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、
港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

●問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 副所長 神藤(じんどう)

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 保全課

前任建設管理官 伊藤(いとう)

Tel 052-651-6594

Fax 052-651-6287



【現地確認状況写真】

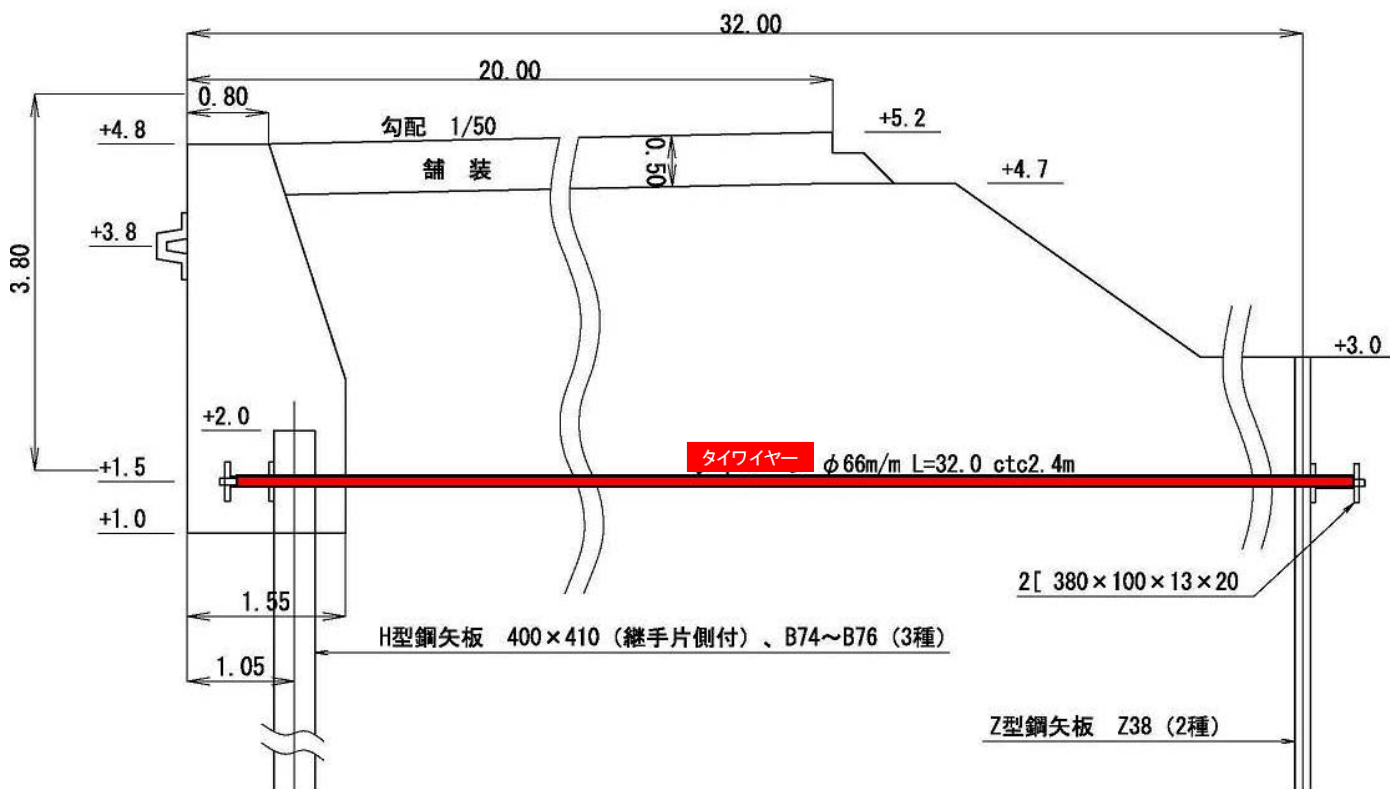


【現地確認の結果】

・タイワイヤー（鋼材）の周りにテープ状のものが巻きつけられていた。今回、このテープの上からタイワイヤーの表面の状態を確認したが、観察した範囲において鋼材の錆は確認されなかった。

(※)タイワイヤーとは？

国民の暮らしに必要な荷物を運ぶ船舶が接岸する岸壁の構造のうち、矢板と控工をつなぐ材料。



現地調査場所

金城ふ頭84号岸壁

